

仕事納め__納会スピーチ 於本郷分室 8F

再成長への第一歩が踏み出せた年でした。一年間、お疲れさまでした。

代表取締役社長 石和田 雄二

1. はじめに : <納会なので一年間を振り返ります。>

☆1 1年前の今頃は、先行きが本当に不安な状況だった。

年末懇親会は年度の話をしてきましたが、納会はこの1年を振り返ります。1年前の12月は年度末まで後3カ月を残し、先行きに不安を感じ、緊迫していた時期です。上期で1億円の赤字、10月35M、11月38Mの利益を出していても未だ2500万円強の赤字、これを12月と稼働日の少ない年明け3カ月で9月改訂予算の計画利益1億8千万円に届くのだろうか、最悪でも増収増益の1億2千万を超えるには月間平均40M超が必要だ。業務管理面からの自信はあるが、賞与経費増もあって不安で一杯だった。

☆2 社員各位の努力で奇跡的に利益目標を達成した。今年の良い思い出だ。

年が明けて12月の利益実績は49M、1月2月3月は、夫々46M、55M、65Mで第4四半期合計が166M、年度合計利益191M、1億9千万円だ。売上高も対前期4億増の67億3千万、計画通りの増収増益達成となる。C社向けの問題が3Qで完全解消、4Qは利益側に回ったのが大きかった。4月からの本年度以上にこの前期の綱渡りの経営とその着地は、関係各位の努力の賜であるが、私にとっては今年の思い出に残る「事件」であった。

2. 1年を振り返って : <当社のProject Best 5+次席3点を選ぶ>

☆1 C社向け__就職情報システムの機能追加と運用安定化支援。

～ 担当 小山・砂金 : 問題リカバリーと当社業績復活への貢献

☆2 N社向け__AI中心に先進技術部門への開発・実用化サービス

～ 担当 笠原・郡司 : 技術オフアリングと先進応用人材の育成

☆3 N研向け__オープンサイエンス基盤の運用機能開発サービス

～ 担当 恵・鹿間 : 大手の後を継ぎ難題克服、新たな出発へ

☆4 B社向け__航空会社内際旅客システム統合とビジネス基盤構築。

～ 担当 平松・松本 : 10年単位の伝統開発を乗切って信頼維持

☆5 B社向け__関西地区複数企業のクラウド・モダン基盤再構築

～ 担当 潘騏・酒井 : SI業務の現代化で戦略サービス商品確立

そして次席は・・・

- ☆6 T社向け__AI応用錆分析技術による市場車両の防錆品質の向上
～ 担当 江口・近藤高： 技術貢献度高く TS への特別賞提案案件
- ☆6 B社向け__地銀信金と農商中金での着実な実績で信用確立人材育成
～ 担当 渡部憲・黒田： 信用に先進基盤技術が加わり展望拡大中
- ☆6 A社向け__大手企業基盤更改に伴う現新テスト半自動化ツール開発
～ 担当 小森・佐藤省： マイグレ共通業務の整理統合、自動化へ道

3. 1年を振り返って : <経営担当者としての業務全体の感想>

- ☆1 コロナ明けが本格化、過去の問題を清算して新たな再出発を始めた。
今期については懇親会でも述べたので省略するが、業績的には想定以上に順調に推移した。今期も 100 名超の新人が入社したが、上期から黒字、期末の見通しも売上 15%増の 78 億、利益は 3 倍増の 6 億円の増収増益、地力がついた様だ。当社のマジョリティーとなった若手が伸びたことと専門化した当社技術が時代の流れに乗って成果を上げ始めたからだろう。
- ☆2 資本 3 社との業務で将来に向けた人材育成、技術導入が進み始めた。
当社との少額 10%出資の 3 社、NTT データ、TS(トヨタシステムズ)、BIPROGY、元々、当社の 3 大顧客であったが、資本・業務提携により実業務面での効果が生まれて来た 1 年であった。4 半期単位に開催する QBR と担当責任者の定期会合で相互の距離感が徐々に埋まっている。

4. おわりに : <1年間、ご苦勞様でした>

- ☆1 仕事納めの会、1年の想いをご出席の仲間たちとご歓談ください。
1年間、お疲れさまでした。粗食と飲み物を用意してあります。
わずかな時間ですが、この1年を振り返ってご歓談下さい。
年末のご挨拶で頂いたカレンダーや手帳もあります。
気に入ったものがあれば、お持ち帰り下さい。
- ☆2 今年は9連休、楽しい正月休みを
私は、孫と一緒に箱根の TJK 保養所に一泊、大学駅伝を見て来ます。
久しぶりの9連休、夫々の過ごし方で1年の疲れを癒して下さい。
事故の無い様に気を付けて、
来年1月6日、また元気にお会いしましょう。

(了)